

## II 各教科の正答率、問題の内容及び所見・解説

### 5 英語

#### (1) 正答率

問題	配点	正答		一部正答		誤答		無答		通過率 率 = $\frac{\text{得点計}}{\text{人数} \times \text{配点}}$ (%)	
		数	率 (%)	数	率 (%)	数	率 (%)	数	率 (%)		
1	No. 1	2	250	72.3	0	0.0	96	27.7	0	0.0	72.3
	No. 2	2	188	54.3	0	0.0	158	45.7	0	0.0	54.3
	No. 3	2	127	36.7	0	0.0	219	63.3	0	0.0	36.7
	No. 4	2	212	61.3	0	0.0	134	38.7	0	0.0	61.3
	No. 5	2	169	48.8	0	0.0	177	51.2	0	0.0	48.8
	No. 6 (1)	3	169	48.8	28	8.1	78	22.5	71	20.5	53.9
	No. 6 (2)	3	88	25.4	12	3.5	170	49.1	76	22.0	27.4
	No. 6 (3)	3	115	33.2	62	17.9	112	32.4	57	16.5	42.8
	No. 7 (1)	3	157	45.4	0	0.0	189	54.6	0	0.0	45.4
	No. 7 (2)	3	162	46.8	0	0.0	184	53.2	0	0.0	46.8
No. 7 (3)	3	86	24.9	0	0.0	259	74.9	1	0.3	24.9	
2	A	3	281	81.2	11	3.2	44	12.7	10	2.9	83.1
	B	3	209	60.4	14	4.0	105	30.3	18	5.2	63.0
	C	3	227	65.6	9	2.6	89	25.7	21	6.1	67.1
	D	3	155	44.8	24	6.9	140	40.5	27	7.8	48.7
3	問1	3	226	65.3	0	0.0	119	34.4	1	0.3	65.3
	問2	3	173	50.0	10	2.9	153	44.2	10	2.9	51.6
	問3	3	190	54.9	0	0.0	154	44.5	2	0.6	54.9
	問4	4	135	39.0	42	12.1	71	20.5	98	28.3	47.3
	問5	4	50	14.5	117	33.8	130	37.6	49	14.2	30.2
	問6	3	187	54.0	0	0.0	157	45.4	2	0.6	54.0
4	問1	3	186	53.8	0	0.0	160	46.2	0	0.0	53.8
	問2	4	221	63.9	0	0.0	125	36.1	0	0.0	63.9
	問3	4	224	64.7	0	0.0	122	35.3	0	0.0	64.7
	問4	3	195	56.4	0	0.0	150	43.4	1	0.3	56.4
	問5	4	37	10.7	3	0.9	294	85.0	12	3.5	11.1
	問6	4	77	22.3	106	30.6	95	27.5	68	19.7	40.4
	問7	4	139	40.2	59	17.1	66	19.1	82	23.7	51.1
	問8	4	26	7.5	58	16.8	127	36.7	135	39.0	15.4
5		10	12	3.5	213	61.6	71	20.5	50	14.5	32.1

(小数第2位を四捨五入しているため、%の合計が100にならない場合がある。)

#### (2) 問題の内容

1 会話やまとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取る。

No. 1～3 映画の上映開始時間、コーヒー1杯の値段、母親が息子の財布を見つけた場所等、日常的な場面の会話を聞いて、絵の中から、質問に対する答えとして適切なものを選ぶ。

No. 4、5 友人に再会する場面や、買い物に友人を誘う場面といった、日常生活における「ある場面」を説明する英文を聞いて、質問に対する答えとして適切な表現を選ぶ。

No. 6 TakakoとALTのMr. Wilsonが外国語の学習について会話をしている。その会話を聞き取り、内容について英語で答える。

No. 7 中学生のKeikoが、自分の住む町についてのスピーチを英語でおこなっている。そのスピーチを

聞き取り、内容についての質問に対する答えとして適切なものを選ぶ。

- 2 クッキングスクールで日本料理教室が開催されることについての広告を英語で作成することを想定し、日本語のメモをもとに、空欄にあてはまる語をそれぞれ書き、英語による広告を完成させる。
- 3 Kotaはスピーチの原稿を英語で作ることになった。しかし、何を題材にすべきかわからなかった。そのようなとき、新しく来たALTのMs. Bowerが日本のごみ収集のルールが理解できず困っていることを知った。Kotaは英語でMs. Bowerにごみ収集のルールを伝える中で、スピーチのアイディアを得るとともに、大切なことを学んでいく。この英文を読んで、あらすじや大切な部分を読み取る。
- 4 AkinaとHayato、ALTのMr. Leeの会話や発表である。日本のショッピングモールでのモールウォーキングや、シンガポールのスーパーマーケットで働くお年寄りについての複数のまとまりのある英文を読み、あらすじや大切な部分を把握し、場面に応じて英語で適切に表現する。
- 5 What is the best way to learn English for you? という質問に対して、2つの条件に従って5文以上の英文で書く。〔条件〕①として、1文目は〔質問〕に対する答えを書き、〔条件〕②として、2文目以降はその理由が伝わるように4文以上で書くように指示されている。

### (3) 所見・解説

- 1 会話やまとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取る力をみようとしたものである。
  - No. 1 会話を聞いて、映画の上映開始時間を表す絵を選ぶ問題である。会話では、午前中に上映される映画のチケットを買っているので正答はAである。誤答としてBが多く、数字を正確に聞き取れなかったためと思われる。
  - No. 2 店内で注文している場面の会話を聞いて、コーヒー1杯の値段を表す絵を選ぶ問題である。追加で注文したコーヒーの値段が問われているので、正答はBである。何が問われているかを理解し、聞き取れた情報から答えを導き出す必要がある。
  - No. 3 会話を聞いて、財布を見つけた場所を答える問題である。Atsushiの母親はベッドの下で見つけたと言っているため、正答はDである。誤答としてBが多くみられた。バッグに入れたという発言は聞き取れているが、質問の内容や会話の流れを正確に聞き取れなかったためと思われる。
  - No. 4 アメリカの空港に着いたMayumiがJakeと再会する場面である。JakeがMayumiにどれくらいの期間滞在するのかをたずね、それに対してMayumiは何と答えるかが問われている。正答は「3週間」という期間を表すCである。
  - No. 5 Kentaは週末に、スポーツ店に買い物に行こうとしている。友達のTomと一緒にいきたいと思っているKentaがTomに何と声をかけるかが問われているので、週末に時間があるかをたずねているCが正答である。AとBが誤答として多くみられたが、tennisやracketなどの単語を会話の内容と結びつけたためと考えられる。何を問われているかを理解し、状況に応じた適切な表現を選択することが大切である。
  - No. 6 TakakoとALTのMr. Wilsonの、外国語学習についての会話を聞き取り、英語の質問に対して答えとなる英文を完成させる問題である。
    - (1) 質問は「Mr. Wilsonはいつ日本語を学び始めたか」というものである。Mr. Wilsonの発言にある“I started learning it when I was a high school student.”から、正答は、high school studentである。
    - (2) 質問は「Mr. Wilsonは日本で何をすることが好きか」というものである。Mr. Wilsonの発言にある“I really like to visit old towns in Japan.”から、正答はvisitである。動詞を入れるべきところに固有名詞等を入れた誤答が多くみられた。
    - (3) 質問は「Takakoはなぜ中国語を学びたいか」というものである。Takakoが会話の中で“A lot of people speak Chinese, so I want to be able to talk with more people.”と話していることから、正答はto talkである。
  - No. 7 自分の住む町についてKeikoがおこなったスピーチを聞き取り、英語の質問に対する答えとして最も適切なものを選ぶ問題である。

- (1) 質問は「Keiko はなぜ自分の町の変化を学ぼうと決めたのか」というものである。“I wanted to know more about the changes in my town, so I decided to learn about those changes during summer vacation.”とあるので、正答はBである。
- (2) 質問は「デパートが閉店した後、その場所に何が建てられたか」というものである。“it closed, and we have a hospital there now.”とあるので、正答はAである。
- (3) 質問は「Keiko はどのようなことを望んでいるか」というものである。“I hope that the warm hearts of the people in my town will never change.”とあるので、正答はDである。

「聞くこと」の学習においては、No. 1のような短めの英語を聞くことから始め、英語を聞き取り、絵や図表等の情報につなげることに慣れていくことが重要である。No. 4やNo. 5では、特定の場面での表現を正確に理解することが大切である。No. 6やNo. 7のようなまとまりのある英語では、概要や要点を正確に把握するために、メモをとる等の工夫をして、必要な情報を聞き取る力を身に付けたい。

- 2 身近な場面に関する英文を完成させることを通じて、基本的な語の使い方や綴りが定着しているかをみようとしたものである。

A 「魚」fish の綴りを問う問題である。無答は少なかったが、fishes や fish のような綴りの誤りが多くみられた。音と文字の一致の定着を図りたい。

B 「8月」August の綴りを問う問題である。August, Augest, Ougust のような綴りの誤りが多くみられた。基本的な語彙について正確に書くことのできる力を身に付けたい。

C 「昼食」lunch の綴りを問う問題である。lanch とする誤答と併せて、eat や take のような動詞を書いたものもみられた。have に「(物)を食べる、飲む」という意味があることなど、多義語の定着も図りたい。

D 「木曜日」Thursday の綴りを問う問題である。誤答として、Thersday のような綴りの誤りが多くみられた。また、Tuesday とする誤答もみられた。基本的な語彙の定着を図りたい。

- 3 まとまりのある英文を読んで、あらすじや大切な部分を読み取る力と、基本的な語や文法項目が定着しているかをみようとしたものである。

問1 話の流れをふまえて、本文中の A ～ D のいずれかに、That was the first big problem she had in Japan. という1文を補う問題である。Thatの内容が、Ms. Bowerがごみ収集のルールを知らなかったということを指すことがわかれば、正答のBを選ぶことができる。

問2 指示された語を適切な形に変える問題である。The posterとwriteの関係が主語と述語の関係であり、受動態にすべきことから正答はwrittenとなる。誤答の中には過去形のwroteと答えたものが最も多く、writedやwritingと答えたものもあった。主語と述語動詞の能動・受動の関係を把握し文を作ることを意識したい。

問3 英文の流れに合わせて、空欄にあてはまる適切な英語を選ぶ問題である。第4段落ではKotaたちがMs. Bowerにごみ収集のルールを英語で伝える様子が述べられている。ごみ収集のルールを教えられ、Ms. Bowerが何をすべきかを理解したことがわかれば、正答のIを選ぶことができる。

問4 本文の内容に関する英語の質問に英語で答える問題である。KotaがMs. Bowerにごみ収集のルールを英語で伝えたときに何を必要としたかが問われており、本文中の“so he needed a dictionary to tell her about the rules in English.”が質問に対する答えとなる箇所である。よって、needed a dictionary. 等が正答となる。

問5 本文の内容に関する日本語の質問に日本語で答える問題である。この問題は、最後の段落にある“The most important thing that Kota learned is that there are a lot of things to do to help people from other countries.”が答えとなる英文であり、正答例は「他の国々からの人々を助けるために、すべきことはたくさんあるということ。」となる。

問6 本文の内容と合う英文を選ぶ問題である。第3段落では、Ms. Bower はごみ収集のルールを知らなかったことが述べられている。また、第4段落でKotaたちが彼女にそれを伝えた様子が述べられていることから、Iが正答となる。

- 4 複数のまとまりのある英文を読んで、あらすじや大切な部分を読み取り、場面に応じて英語で適切に表現する力をみようとしたものである。

- 問1 会話の流れと合うように、空欄を補う文を選ぶ問題である。Akinaの発言にある“Many senior citizens are working in Japan.”とMr. Leeの発言にある“A lot of senior citizens in Singapore are still working, too.”から、正答はウとなる。
- 問2 本文①の内容と合うように、After Hayato talked about the senior citizens at the English language school, に続く最も適切なものを選び英文を完成させる問題である。Hayatoの発言にある“Let’s ask them some questions!”から、正答はエとなる。
- 問3 本文②の内容と合うものを選ぶ問題である。本文②の2行目に“In mall walking programs, people walk around in the shopping mall for their health.”とあり、3行目に“Most shopping malls are large”とあることから、正答はアとなる。
- 問4 本文②の内容からインタビューした結果を表したグラフとして最も適切なものを選ぶ問題である。最後に、“There were more people who said they felt healthier after mall walking than people who said they make friends or learned useful things.”とあることから、正答はウとなる。
- 問5 単語を正しい順序に並べかえて英文を完成させる問題である。正答は half of the people working in である。half of ～「～の半分」という表現と、the people working in ～「～で働く人々」という現在分詞の後置修飾を用いた表現で英文を完成させることができる。誤答には、About half of ～の形が作れなかったものや、half of working the peopleのようなものもみられた。
- 問6 本文③の内容に関する英語の質問に英語で答える問題である。正答例は、He has worked for five years. であるが、この問題は、本文4行目の“**He says he is seventy-two years old now and has worked here for five years.**”の文を読み取ることで正答を導き出すことができる。誤答には、He is seventy-two years old. など、年齢を答えているものが多くみられた。これは同じ英文の中にseventy-two years oldの表現があり、何を問われているかを理解できなかったものと思われる。
- 問7 本文④の内容に関する日本語の質問に日本語で答える問題である。正答例は、「多くの子供たちを教えられること。」であるが、この問題は、Akinaの発言にある“**She is glad that she can teach many children.**”の文を読み取ることで正答を導き出すことができる。無答が多くあったが、elementary school studentsから「小学校で教える」との誤答もみられた。正答の鍵となる文をみつけることはできていたが、内容を取り違えたものがみられた。
- 問8 自然な会話になるように空欄に4語以上の英語を書く問題である。空欄のある英文の次の発言に“**There are five teachers.**”とあることから、空欄のある英文は「何人の先生がいるのか」と質問している内容であることがわかる。そのため、正答はHow many teachers are there 等となる。誤答には人数を聞くHow many ～で始まる形にできていないものが最も多く、次いでare thereまで書かれていないもの、senior citizensの人数を聞いているものがあった。また、無答も多くみられた。
- 以上のことから、文法事項については言語活動と効果的に関連付けて定着を図る習慣を身に付けたい。

- ⑤ 与えられた〔条件〕に従い、基本的な語彙や文法を活用して考えを適切に表現できるかをみようとしたものである。解答の仕方として、①は〔質問〕に対して正答例のように、**The best way to learn English for me is**で書き始め、自分にとって最もよい英語の学習方法を述べ、②に同じ内容の繰り返しを避けて①の理由を書くことがポイントである。

誤答としては、質問に正対していないものや、文の構造が不完全なものが多かった。綴り字に関するものでは、よく用いる基本的な動詞や名詞に多くの誤りがみられた。また、**I like listen to English songs**や**Speak English is important**等、不定詞や動名詞の用法に関する誤用もみられた。そのほか、複数形や大文字・小文字の使い方、前置詞の使い方等でも誤りがみられた。

基本的な語彙や文法事項を含め、適切な表現や構成で文を書けているかに注意を払いたい。また、同じ内容の文を無用に繰り返すことなく、自分の考えや理由等が読み手に正しく伝わるように、文のつながりなどに注意して、一貫性のある文章を書く力を身に付けたい。